

：：カレンは
帰ってきてくれた

カレンっ!!





もう会えないとさえ
思っていたから……

凄く嬉しくて
ホツとした



でもカレンは
僕を見るなり

苦しそうに
泣き始めて……

……家に帰る車の中でも

家に着いてからも

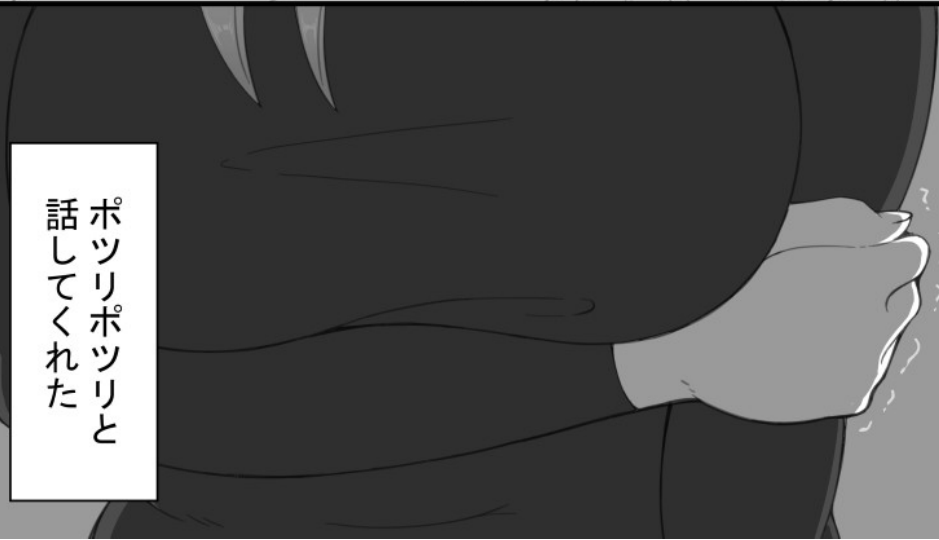


カレンは
ずっと泣きながら
僕に謝っていた。



しばらくして少しだけ
カレンが落ち着いたとき

僕は何が
あったのか尋ねた



するとカレンは
怯えながら

僕の顔色を伺って
震えながら

ポツリポツリと
話してくれた



連絡が覚束なかった
数日間の出来事…

快楽に
流されて元彼の精子を
受け入れてしまったこと

終わったあとと正気に戻って
すぐピルを飲んだけど、
間に合わないかもしれないこと



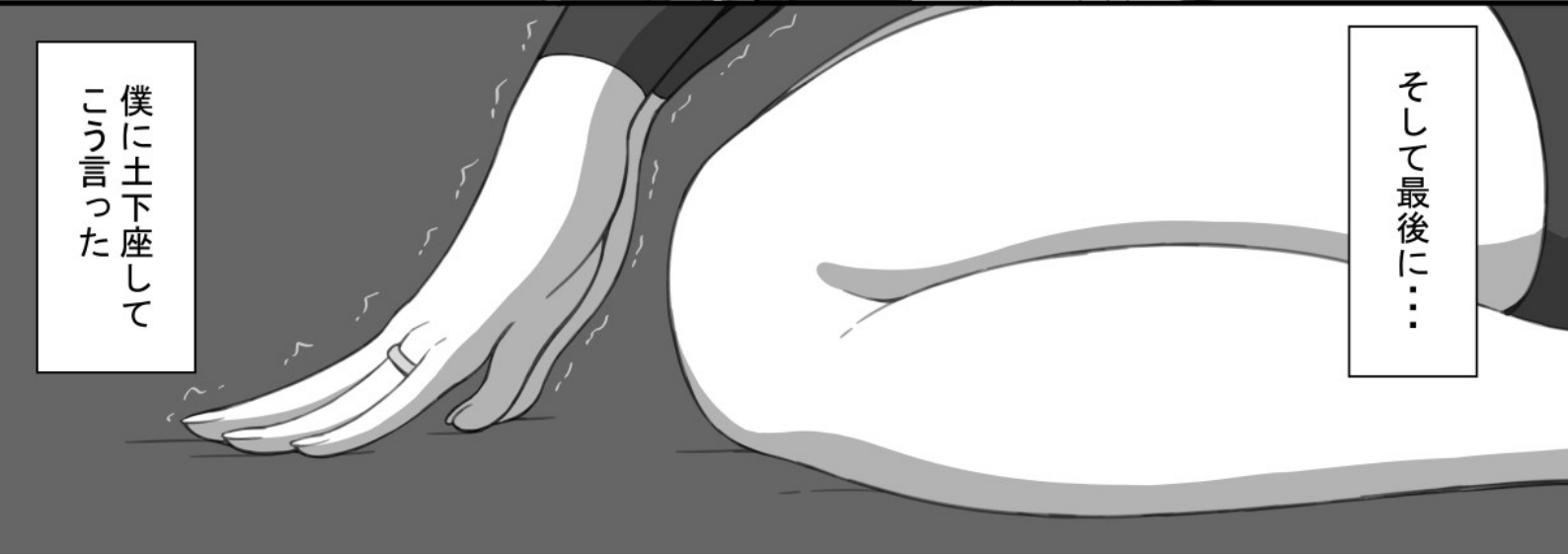
そして
高校時代に一度



ほんととは結婚前に
言うべきだったけど

元彼の子供を妊娠して
堕ろした経験があったこと

軽蔑されてしまうのが
怖くて言い出せなかったこと



そして最後に…

僕に土下座して
こう言った

『裏切ってしまつて
本当にごめんなさい』

『あなたの妻でいる
資格はありません』

『離婚させてください』



ツ……

…頭の中が
ぐちゃぐちゃだった

色んな感情が
心を掻き回していた

…苦しかった

凄く辛かった

…でも



カレンが僕ではなく
元彼の子供を望み…

妊娠するかも
しれないこと

過去にも
そういうことが
あったこと





それだけ
強烈な快楽を
何日も受け続けて…

耐えるのは
きつと凄く
辛かったはず
なのに…



最後は吞まれて
しまったけど

こうして僕の元に
帰ってきてくれて…



こんなにもまだ
僕のことを
想ってくれて…

っ……



僕だって悪いのに

元はといえば
僕が寝取らせなんて
やろうとしたからで…

カレンを
そんな過酷な状況に
追い込んだのは
そもそも僕なんだ



…だから

僕は…

グ

覚悟を決めた

カレンだけに
背負わせてはいけない

え……？

僕たち二人で
背負わなきゃいけない

たとえどんな
結果になろうとも…

受け入れる

これから一緒に
歩み続ける

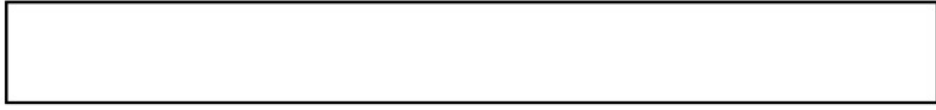
「ごめんなさい……」

「ごめんなさい……」

…そうして僕達は



これからも
夫婦で居続ける
選択をした



—半年後—



凄く綺麗…

ふふっ

うふふっ

じゃあカメラの
準備するね

うん♪

ここにしない？

…あれから
半年を経て

僕達は少しずつ
前みたいに
笑えるように
なっていた

最初はカレンも
罪悪感からか

楽しいことがあっても
笑顔を我慢してたけど…

最近は柔らかな表情を
見せてくれるようになった

ふふっ♪

あのとき
一緒にいる決断をして
良かったと思う

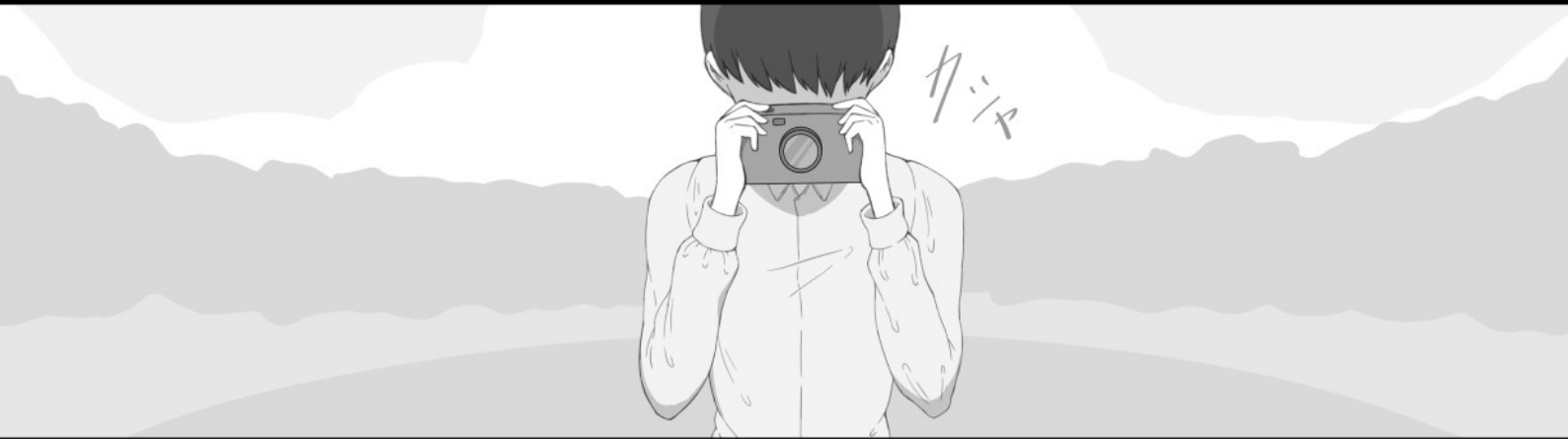
本当に辛かったけど

いま僕達は
とても幸せだから

じゃあ撮るよ

はっい

・・・ただ



1つだけ、覚悟が甘かった



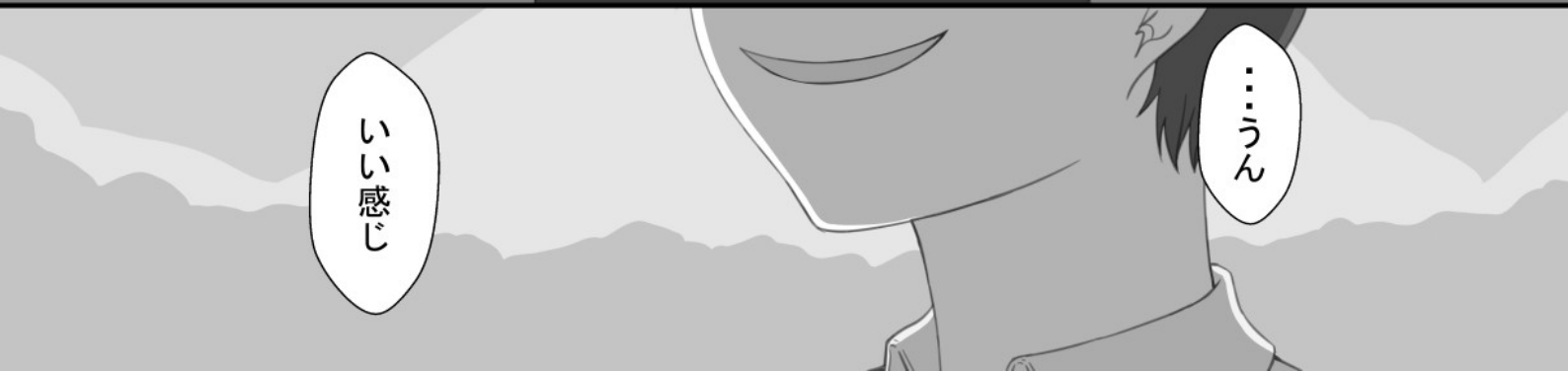
5
カ
月
前

カレンは僕に
『決めて欲しい』と言った



・・・うん

いい感じ



覚悟はしていたし

どうするかも
決めていた

でもいざ
直面すると
僕の心は激しく
ざわつき...

...迷ってしまった

悩んでしまった

どれどれ...

あっ

ほんとだ!

すごい上手に
撮れてる!

すごい!

でもやっぱり
罪はないから

僕達の責任を
背負わせるなんて
できないから

...改めて

覚悟を決めた

...ありがとう



でも甘かった



来年もここで
写真撮れたらいいね

今度は
この子と一緒に

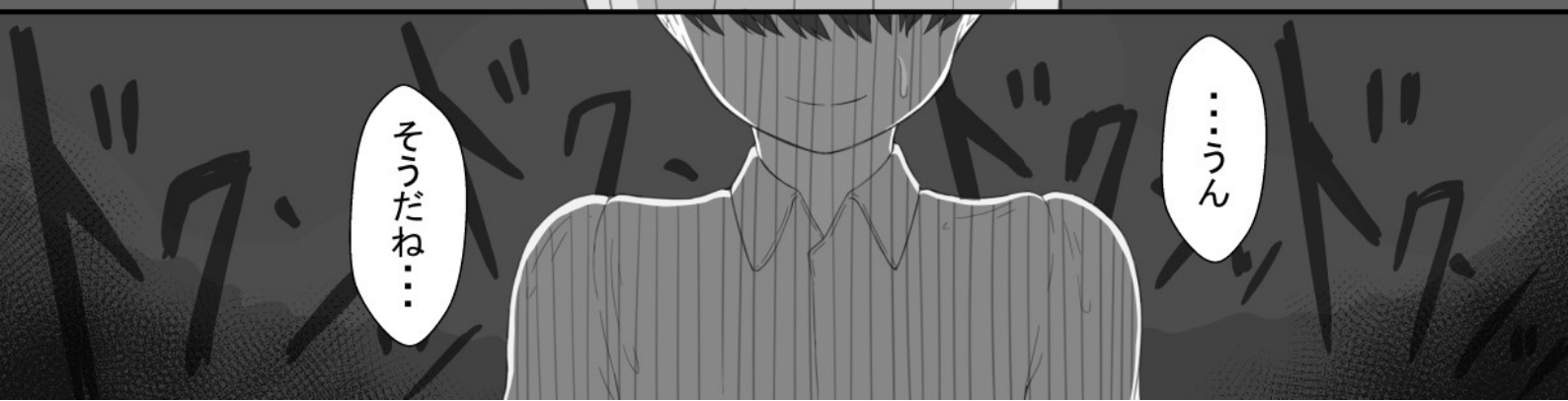


覚悟なんて
そう簡単に
出来るものじゃ
なかった



カレンのお腹が
少しずつ膨らむたびに

凄まじい焦燥が
胸を掻き巻いて…



…うん

そうだね…



カレンのお腹は、他のオスの精子で膨らんでいく